社長の相談相手を選ぶ前に、確かめたい5つの問い

最後に決めるのは社長です。それは変わりません。

ただ、決めることが孤独なのと、考えることまで一人でやるのとは、別の話です。

経営者1,376名への調査では、約4人に1人（27.2%）が「本音で相談できる相手はいない」と答え、相談相手がほしい理由の最多は「話して考えを整理したい」72.2%でした。

（EO Tokyo Central「経営者の相談相手に関する調査」2026年6月）

「答えをもらう相手」と「考えを整理する相手」は別に持つ

相手	得意なこと	難しいこと
税理士・弁護士などの専門家	正しい答えを出してくれる	「どうしたいか」までは一緒に考えにくい
経営者仲間	同じ立場の苦労が分かる	見栄や利害が入りやすい
家族	いちばん近くで支えてくれる	心配をかけたくなくて、話しきれない
社外のコーチ・顧問	利害がなく、社長自身の考えを整理する	合う相手を選ぶ必要がある

社外の相手を選ぶ前に、確かめたい5つの問い

- ☐ 1. 話したことが、外に出ないか。守秘をはっきり約束してくれるか
- ☐ 2. 会社と利害がないか。話の途中で、何かを売り込まれないか
- ☐ 3. 答えを押しつけず、社長の言葉で考えさせてくれるか。話し終えたとき、自分の考えがはっきりしているか
- ☐ 4. 耳の痛いことも、言うべきときに言ってくれるか。うなずくだけの相手になっていないか
- ☐ 5. 続けられる間隔で会えるか。一度きりの相談では、迷いの変化を一緒に追えない（目安は月に1回）

3つ以上に✓が付かない相手なら、「考えを整理する相手」は別に探す価値があります。

月に一度、頭の中を外に出す時間

アビリタでは、社長・役員の方と月に1回・1年間お話しする「エグゼクティブ・コーチング」をお受けしています。

何を相談したいか決まっていなくても構いません。まずは30分、話してみるところから。

→ https://training.abilita.co.jp/exec/

アビリタ株式会社 代表取締役 柴山 甲子朗（国際コーチング連盟認定 PCC）